

報道関係者各位

2021年11月2日
公益財団法人日本デザイン振興会

2021年度グッドデザイン大賞

「分身ロボットカフェDAWN ver.β」と分身ロボットOriHime」に決定

障害を抱える就労希望者に社会とつながる選択肢を創出するロボット&カフェ

公益財団法人日本デザイン振興会（会長：川上元美、所在地：東京都港区）は、主催事業である2021年度「グッドデザイン大賞」の受賞結果を11月2日(火)に発表しました。

2021年を象徴するデザインである「グッドデザイン大賞」は、本年度グッドデザイン賞受賞1,608件（審査対象数5,835件）より選出された大賞候補であるファイナリスト5件に対して、国内外のデザイナーや建築家、専門家など、各分野の一線で活躍されている88人の審査委員と本年度グッドデザイン賞受賞者および一般からの投票を実施した結果、最多票数を得た「[遠隔勤務来店が可能な「分身ロボットカフェDAWN ver.β」と分身ロボットOriHime]」に決定しました。

2021年度グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）

遠隔就労・来店が可能な分身ロボットカフェ

[遠隔勤務来店が可能な「分身ロボットカフェDAWN ver.β」と分身ロボットOriHime]

受賞者：株式会社オリィ研究所(東京都)



遠隔操作デバイスである分身ロボットOriHimeの開発と、ロボットを活用したカフェの取り組み。障害や病気を抱えた外出困難者が、ロボットを遠隔操作することで、自宅から接客をすることができます。企業との採用マッチングの場や社会経験の少ない障害者の就業訓練の場としても機能しています。

大賞受賞者のコメント

身近にいた身体機能の不自由な人が抱いていた、仕事をしたいという望みをかなえたい一心から始まったこのプロジェクトを、今後さらに世界へ向けて、多くの人々が就労をしていけるためのモデルとして大きく育てていきたいと考えています。

吉藤オリィ（株式会社オリィ研究所 代表取締役 CEO）



【「分身ロボットカフェDAWN ver.β」と分身ロボットOriHime」について】

<https://dawn2021.orylab.com/>

■概要

老若男女・障害の有無に関わらず操作することができる遠隔操作デバイスである分身ロボット「OriHime」 「OriHime-D」の開発、その分身ロボットを活用して就労・来店できる場所「分身ロボットカフェDAWN」店舗デザイン、社会と関わり続けるための仕組み「遠隔就労人材紹介サービス AVATAR GUILD」サービスの構築。

■デザインのポイント

- 1.リアルな場だからこそ生まれる「出会いと発見の創出」をカフェという実店舗と分身ロボットで実現させる。
- 2.iPadを利用したメニュー説明や注文システムなど遠隔接客を前提としたUXで料飲店を再デザイン。
- 3.スマホ・タブレットPC・PC、老若男女・障害の有無を問わず操作ができる分身ロボットの開発・導入。

■背景

長寿化が進む日本であるが、平均健康寿命と平均寿命の間には依然として約10年というギャップが存在する。寝たきりにならないのは寝たきりになる前に天寿を全うした人だけであり、医療の発展と共に将来的に多くの人が寝たきりになる可能性がある。我々はセカンドライフについてはこんな趣味をしたい、ここに行ってみたいという豊かな夢を描くが、寝たきりになってからの「サードライフ」には具体的な未来像を描けずにいるばかりか、やがて来る現実から目を逸らすばかりである。こうした私たちにとっての未来を先に生きているのが、我々が「寝たきりの先輩」と呼ぶ外出困難者・重度障害者たちである。彼らが社会と繋がり続け、誰かのためになっているという生の実感を得られるかどうか、日本が世界から大きな注目を寄せられている「超高齢化社会をどう豊かに生きるのか」についての解があるのではないかと、ということからこのカフェの実現を発想した。

■審査委員の評価

分身ロボットの開発を中心に、テクノロジーおよびUXにより就労希望者の「障害」を取り除く画期的な事業。実際に訪れると、ロボットに接客されるのではなく、その奥にいる人に接客されている体感が持てるようデザインされていることがわかる。つまり、ロボットを操縦するパイロットを障害者でもできるように設計されている、ということだけでなく、ロボットをメディアとして障害のある人との生々しい接点がデザインされていることに強い意義を感じる。また、カフェが企業との採用マッチングの場および社会経験の少ない障害者の就業訓練の場としての役割を併せ持ち、実際に一般企業での恒常的な就労に繋がる事例もすでに多く実現している点も高く評価できる。カフェ自体の国内外での展開もさることながら、ここを起点に、さまざまな障害を抱える就労希望者と一般企業、そして消費者との接点がさらに広がっていくことを期待する。

【グッドデザイン賞について】



グッドデザイン賞は1957年に創設された「グッドデザイン商品選定制度」を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの取り組みです。

GOOD
DESIGN

【グッドデザイン大賞について】

グッドデザイン大賞は、その年の全てのグッドデザイン賞受賞対象の中で、社会性、時代性、提案性などの面で最も優れているとされるデザインです。1980年の制定以来、時代を象徴するシンボリックなデザインとして、日本の社会におけるデザインのマイルストーンの役割を担っています。

【2021年度グッドデザイン大賞決定方法について】

今年度は、10月20日(水)～31日(日)まで、ウェブサイト上で一般からの投票を受け付けました。さらに11月2日(火)の大賞選出会において、ファイナリスト5組のプレゼンテーションを実施し、今年度グッドデザイン賞受賞者と審査委員が投票を行い、全ての票を合計して、最多得票を得た1件がグッドデザイン大賞に決定しました。